JFA

2026/11/1

JFA 第 50 回全日本 U-12 サッカー選手権大会
実 施 要 項 （最終稿）

1. 趣旨　日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。

2. 名称　JFA 第 50 回全日本 U-12 サッカー選手権大会

3. 主催　公益財団法人日本サッカー協会
公益財団法人日本スポーツ協会　日本スポーツ少年団
読売新聞社

4. 主管　一般社団法人鹿児島県サッカー協会

5. 後援　スポーツ庁 ／ 日本テレビ放送網 ／ 報知新聞社 ／
鹿児島県 ／ 鹿児島県教育委員会 ／ 公益財団法人鹿児島県スポーツ協会 ／
鹿児島市 ／ 鹿児島市教育委員会

6. 協賛　U-12 トップパートナー
YKK ／ 花王 ／ 日清オイリオグループ ／ ゼビオ ／ 日本マクドナルド ／ ビックカメラ
U-12 カテゴリーパートナー
ANA / アディダス ジャパン / 日本シグマックス / テーブルマーク / TOYO TIER / KDDI / コールマン

7. 協力　モルテン

8. 日程・会場

開　催　日 ： 2026 年 12 月 26 日（土）～12 月 29 日（火）
会　　場 ： 1 次ラウンド・ラウンド 16　フレッシュ青果スポーツランド（鹿児島県鹿児島市）
　　鹿児島県立サッカー・ラグビー場（鹿児島県鹿児島市）
　　準々決勝　　鹿児島県立鴨池補助競技場（鹿児島県鹿児島市）
　　準決勝・決勝　　白波スタジアム（鹿児島県鹿児島市）
組　合　せ ： 2026 年 11 月 26 日（木）　に発表する。
代表者会議 ： 2026 年 12 月 5 日（土）　WEB 上にて開催予定
開　会　式 ： 2026 年 12 月 25 日（金）　宝山ホール（鹿児島県文化センター、鹿児島県鹿児島市）

9. 参加資格

(1) 「参加チーム」は、大会実施年度に日本サッカー協会（以下「本協会」）第 4 種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）であること（準加盟チームを含む）。
(2) 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
(3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
(4) 都道府県大会から全国大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
(5) 女子選手については、（クラブ申請を承認された）同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。
(6) 「参加チーム」及び「参加選手」は、都道府県大会で優勝したチーム・選手とする。
当該チームの都道府県大会への登録選手数が 20 名に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手から補充することができる。
(7) 「参加チーム」は U-12 リーグに参加していること。
(8) チーム役員は「参加チーム」を掌握または指導する責任ある者であること。なお、ベンチ入りするチーム役員のうち、戦術的な指示やコーチングを行う者（監督・コーチ等）は、全員が JFA D ライセンス以上を有し、かつ、少なくとも 1 名は JFA C ライセンスを有すること。
また、試合時においては、JFA C ライセンスを有するチーム役員が 1 名以上ベンチ入りすること。
(9) 「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。

10. 参加チームとその数

参加チームは、以下により選出された 48 チームにて行う。
(1) 都道府県代表として各 1 チーム　計 47 チーム
(2) 前年度優勝チーム枠として 1 チーム（第 49 回大会優勝チーム都道府県：佐賀県）
※単一「加盟チーム」から 2 チームが出場しても構わない。

11. 大会形式

(1) 1 次ラウンド：出場 48 チームを 4 チームごとの 12 グループに分けリーグ戦を行う。
なお、前年度優勝チーム枠による同都道府県出場チーム同士は、同グループでは対戦しない。
(2) 1 次ラウンドにおける順位の決定方法は、勝利 3 点、引分 1 点、敗戦 0 点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
① 全試合の得失点差（総得点－総失点）
② 全試合の総得点
③ 当該チーム同士の対戦成績（勝敗）
④ ①～③の全項目において同一の場合は、抽選により決定する。
(3) また、1 次ラウンドの各グループ 2 位チームのうち、決勝ラウンドに進出する 4 チームは、以下の順序により決定する。
① グループ内での勝点合計
② グループ内での得失点差
③ グループ内での総得点数
④ ①～③の全項目において同一の場合は、抽選により決定する。
(4) 決勝ラウンド：1 次ラウンド各グループ 1 位チーム及び各グループ 2 位チームの上位 4 チーム計 16 チームによるノックアウト方式にて優勝以下第 3 位までを決定する。（第 3 位決定戦は行わない）

なお、1 次ラウンド同組同士はラウンド 16 では対戦しない。

12. 競技規則

本大会実施年度の本協会「サッカー競技規則」および「8 人制サッカー競技規則」による。
本大会はキャプテンオンリーを適用し、「キャプテンオンリー」ガイドラインに則り実施する。
また、本大会で選択可能と定められている、以下 3 項目を適用する。

(1) 競技者が、不適切な発言、侮辱、またはその他の攻撃的もしくは差別的な発言が発覚しないように自分の口を覆う行為
罰則内容：退場となる反則

(2) 競技者が、主審の判定に抗議し競技のフィールドを離れる行為
①競技者、交代要員、交代して退いた競技者は、次の反則のいずれかを行った場合、退場を命じられる
プレーを継続させる、または再開に関する判断を含めた主審の判定に抗議するために、競技のフィールドを離れる
プレーを継続させる、または再開に関する判断を含めた主審の判定に抗議するために、他の競技者に競技のフィールドを離れるよう指示する、または促す
②チーム役員は、次の反則のいずれかを行った場合、退場を命じられる
たとえ競技者が競技のフィールドを離れなかったとしても、プレーを継続させる、または再開に関する判断を含めた主審の判定に抗議するために、競技者に競技のフィールドを離れるよう指示する、または促す
罰則内容：退場となる反則

(3) フィールド外での治療および診断の手続きについて
出血・頭部負傷により、フィールド外で治療となった場合において、治療/診断が不要、もしくは治療/診断が短時間で完了すれば、1 分を待たずして、フィールド内に復帰できる

13. 大会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

(1) 競技のフィールド
フィールドの表面は、天然芝とする。
サイズは以下のとおりとする。

フィールドの大きさ：	長さ（タッチライン）68m × 幅（ゴールライン）50m
ペナルティーエリア：	12m
ペナルティーマーク：	8m
ペナルティーアークの半径：	7m
ゴールエリア：	4m
センターサークルの半径：	7m

(2) ボール
試合球はアディダス社製「コネクト 26 キッズ（ADF430・4 号球）」とする。
また、準決勝および決勝はマルチボールシステムを採用する。

(3) 競技者の数
競技者の数：8 名（8 名に満たない場合は試合を行わず、得点を 0 対 3 として敗戦したものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により 8 名に満たなくなった場合には、そのまま続行する。
交代要員の数：8 名以内
交代を行うことができる数：制限なし（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。）

(4) ベンチ入りするチーム役員の数：2 名以上 3 名以下（ただし、9.参加資格(8)に準ずること）

(5) 審判員

ユース（18 歳以下）審判員が主審と補助審判として試合を担当する。

※ 選手と審判員がともに大会を支えることを理解しお互いにリスペクトある対応を心がけること

(6) テクニカルエリア

設置する。

(7) 競技者の用具・ユニフォーム

① 本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

② 本大会に登録した正・副 2 組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。

③ 正・副の 2 色については明確に異なる色とする。

④ 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

⑤ 前項の場合、審判員は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

⑥ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

⑦ アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

⑧ アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

⑨ J クラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（J リーグ）のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号⑭に準じる。

⑩ ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書（WEB 登録）の際に記載し、各試合に必ず携行すること（FP・GK 用共）。本協会に登録されたものを原則とする。

⑪ シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。

⑫ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。

⑬ ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。

⑭ ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会が別途定める規定に基づくものでなければならず、2026 年 12 月 8 日（火）までに本協会に承認された場合にのみ認められる。

※ 本協会ユニフォーム規程第 10 条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ（ J リーグ）に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。

⑮ キャプテンアームバンドについては、本協会によって用意されたアームバンドのみ着用が認められる。

⑯ フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。

アームバンドの代用としてテープなど着用することができる。

(8) 試合時間

① 試合時間は 40 分（前後半各 20 分）とする。

ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則 10 分間

② 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合

1 次ラウンド：引き分けとする。

ラウンド 16・準々決勝：PK 戦により勝利チームを決定する。

準決勝・決勝戦：10 分間（前後半各 5 分）の延長戦を行い、なお決しない場合は PK 戦により勝利チームを決定する。

延長戦に入る前のインターバル：原則 5 分間

PK 戦に入る前のインターバル：原則 1 分間

③ アディショナルタイムの表示：行う

(9) 交代の手続き

① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパー は、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。

② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

④ 交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。

⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

※ 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

(10) 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大 2 名ピッチへの入場を許可される。

14. 懲罰

(1) 本大会の予選（都道府県大会）は懲罰規定上の当該競技会とみなし、予選終了時点で退場による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。ただし、警告の累積による場合を除く。

(2) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、本大会規律委員会を設ける。

(3) 本大会期間中に警告を 2 回受けた選手等は、本大会の次の 1 試合に出場できない。1 次ラウンド終了時点で、累積の警告は消滅するものとする。

(4) 本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律委員会において決定する。

競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

(5) 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、本大会規律委員会にて決定する。

15. 大会参加申込

(1) 1 次登録はチームあたり選手最大 20 名、役員は上限なしとする。

(2) 「参加チーム」は、1 次登録を本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」 にて必要事項を入力の上、参加申込手続きを行うこととする。なお、役員のうち 1 名を監督とすること。

(3) 1 次登録の申込期限：2026 年 11 月 30 日（月）12:00

(4) 最終登録はチームあたり 22 名（役員 6 名・選手 16 名）を最大とする。

(5) 「参加チーム」は、最終登録として「最終登録確認用紙」にて参加申込手続きをした選手・役員の中から選手最大 16 名・役員最大 6 名を選出し、提出する。（選手について、最終登録 16 名以外の同行は認めない。なお、交通・宿泊に要する旅費の取り扱いについては 20.交通・宿泊を参照のこと。）

(6) 最終登録の申込：2026 年 12 月 25 日（金）12:00

(7) 1 次登録以降、選手の変更は原則認めない。ただし役員の変更は 2026 年 12 月 25 日（金）12:00 まで認める。

16. 参加料　　無料

17. 選手証

各チームの登録選手は、原則として本協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。

18. 表彰

(1) 優勝チームには内閣総理大臣杯並びに表彰状、アルゼンチン共和国杯、鹿児島市長杯、本協会による表彰状の他、優勝旗並びにトロフィーを授与する。
(2) 準優勝チームには文部科学大臣賞並びに本協会による表彰状を授与する。
(3) 第 3 位チームには本協会による表彰状を授与する。
(4) フェアプレー精神の育成・向上のため、フェアプレー賞を本協会が別途定める選考基準に従い、 トロフィー及び副賞を授与する。
(5) その他、本協会が別途定める規程に基づき、表彰を行うことができる。

19. 交通・宿泊

(1) 参加チームの遠征に要する旅費は 1 チームあたり役員 3 名、選手 16 名を上限とし、チーム最寄り駅より JR 鹿児島中央駅または鹿児島空港までを下記の基準にて本協会が参加チームへ補助金を支払う。選手は小児運賃を適用し、当該区間分は大人運賃の半額を支払うものとする。
   1 区間 200km 未満：在来線普通料金
   1 区間 200km 以上：特急普通指定料金（含新幹線）
   1 区間 500km 以上：航空券料金
   ※ 1 区間とは「チーム最寄り駅より JR 鹿児島中央駅または鹿児島空港」のことではなく、算出根拠に基づく移動経路における単一の交通手段（鉄道、航空機）の区間のことを指す。
   なお、航空機利用は原則として本協会にて航空券を手配し、その代金は本協会より航空会社等に直接支払う。
(2) 宿泊費・食費は、参加全チームに 12 月 25 日（金）夕食から 28 日（月）昼食まで、準決勝進出 4 チームには 12 月 28 日（月）夕食から 29 日（火）昼食までを追加し、本協会にて負担する。なお、宿泊は本協会にて宿舎を指定し、その代金は本協会より当該宿舎に直接支払う。

20. 傷害保険

チームの責任において傷害保険に加入すること。

21. その他

(1) 開会式における選手宣誓は、南から北に都道府県を 1 つずつ上がる順番で、都道府県代表チームの選手より行う。（第 50 回：大阪府／第 51 回：京都府）
(2) 協賛社から参加チームへの提供物品については、主催者の指示に従うこと。
(3) 本大会期間中、疾病・傷害が発生した場合、主管 FA は応急処置のみを行うものとする。
(4) 本大会要項に規定されていない事項については本協会において協議の上決定する。

以上